

2017年12月16日発行

事務所 武石地域自治センター内
<http://www2.marukotv.jp/~s-takeshi>
印刷 中澤印刷株式会社



武石健康ウォーキングを 開催しました



10月29日(日)、住みよいたけしをつくる会健康福祉体育部会(伏見貴昭部会長)主催による武石健康ウォーキングが小沢根雲溪荘から美しい国別荘地周辺並びに頂上公園を会場に、開催されました。

当日は、台風22号が接近し朝から雨の降るあいにくの天気となり、予定した美しい国管理事務所から頂上公園に至る3キロメートルのウォーキングは中止となりましたが、出発地点の別荘地管理事務所まで雨宿りしながら、美しい国在住の森林インストラクター川北九州男さんから、美ヶ原山麓に自生する樹木や、動植物などについて標本を手にとりて解説をいただきました。参加した委員の皆さんは、周囲の自然の豊か

さを実感することができたと、好評でした。また、頂上公園へ向かうバスの車窓から、標高が高くなるに従い変化する植生について、教えていただきました。

その後雲溪荘に移動して、広間でレクリエーションインストラクターの小林路子さんの指導により健康づくり体操や、正しい歩行技術等について体を動かしながら、学ぶことができました。日頃運動不足気味の参加者は、硬くなった体が悲鳴をあげていました。

今回は、部会員を中心にした十数名による試みでしたが、来年度は本格的なウォーキングイベントとして、一般の皆さんを対象に年2回程度開催していく予定です。

ふれあい交流部会

部会長 井出 守雄

ふれあい交流部会では、武石地域でのふれあい交流の機会を通して地域の活性化や絆の造成、生き甲斐の持てる生活、さらに都市からの移住者の増加等を目指して検討を重ねてきました。その中で

- 第1 地域内とりわけ自治会内や班等で自治会長さんやふれあい推進委員さんと部会員が協力して、世代を超えてふれあう場を多く作っていただくことが必要。
- 第2 武石地域内には多くの団体やサークル等が活動していますので、これらの活動がさらに活発になるように協力していくとともに、地域の祭り等の参加者もだんだん少なくなっていることから、地域を超えた参加者の募集も必要。
- 第3 武石地域内ではますます高齢化が進行し、独居世帯も増加することから、交流広場等の設置と運営をしていくことが大切。
- 第4 観光等で武石地域を訪れる人は大勢いるが、こうした人たちと一緒に行動したり話し合ったりするふれあい交流の場は少ない

現状であるので、地域外の人との交流の場をつくっていくことが必要。

これらの会議の結果を踏まえて来年度は

- (1) 武石の夏祭りに交流部会としても参加し、催しものを企画する(スイカ割り等)。
- (2) 地域外の人意見を聞くため、上田市の友好提携都市である練馬区の人たちを対象に、練馬祭の折や、練馬区少年自然の家来訪者を対象にアンケート調査を行い、次年度以降のイベントの参考にする。

等の検討を行っていますが、それでは具体的にどうやっていくのかは、なかなか難しい課題です。こうしたことに造詣の深い方に知恵を貸してもらい必要もあると考えていますし、地域の皆さんも、ぜひお考えや提案をお寄せいただきたいと思います。



広報部会

部会長 宮下 政登

「情報」は、地域のコミュニティーの醸成に不可欠のものです。オフトークが無くなって3年、特に高齢者の皆さんから、地域の情報が入らなくなって大変不便だ、何とかしてほしいという声をたくさん聞きました。

広報部会では

- ・ 広報「住みよいたけし」の発行
- ・ ホームページによる地域の情報発信
- ・ エリアトーク情報システムの確立

の3本の柱により地域の結びつきを高めることが任務と考えています。

- (1) 広報紙では、住みよい武石をつくる会の活動報告や事業参加の呼びかけのほか、意外に知られていない地域の情報(歴史的なことや地域の人、団体など)を紹介し、皆さんに地域への関心を持っていただけるような内容造りをし、2か月ごとの発行を目指しています。
- (2) ホームページは、情報をすぐに掲示できること、情報にいつでもアクセスできるというメ

リットもあります。そうした特性を活かした地域内外への情報発信を目指していきます。

- (3) エリアトークは、「音声」という昔ながらの情報伝達、コミュニケーション手段として、また災害時などはこれまで武石になかった直接伝達手段として期待され、大変有用です。これからも長く便利に使っていただけるようシステム構築を図りたいと考えています。運営は市ではなく、「住みよい武石をつくる会」が当たります。

フェイスブックやラインなど、新しく便利な情報システムがどんどん使われる時代ですが、新聞や肉声によるアナログの情報システムは、単純で、人間臭さもあり、その面で有用です。多面的な情報システムで地域の人間関係を構築することができます。

地域の皆さんも、広報紙やホームページに乗せたい情報がございましたらぜひともご連絡ください。

武石の人 団体

武石風土つながぎ隊

柳沢 裕子さん



代表者の柳沢裕子さん

武石風土つながぎ隊は、大宮諏訪神社周辺で開催される春の「武石花祭り」、また旧武石銀座周辺で開催される秋の「武石おさんぽギャラリー」を主催している団体です

柳沢さんは5年前に雲溪荘の集客アップを図るために雲溪荘周辺でのイベントを企画し、行政や知人、友人を巻き込んで「武石風土つながぎ隊」を設立しました。雲溪荘周辺での企画は実現しませんでした。イベント場所を大宮諏訪神社周辺に移し、上田市わがまち魅力アップ応援事業の認可を得て始まったのが「武石花祭り」。今年は4回目の開催となりました。また、昨年秋に「武石おさんぽギャラリー」を始め、今年2回目の開催となりました。

「つながぎ隊」には、官と民や、それぞれの団体、個人で輝く人々との間で「つながりたい」、また仲介役としてこれらの間を「つなぎたい」という思いを込めました。

「実際にやってみないとわからない事がある。」と柳沢さんは言います。それは、自らが動かないと何も進まないこと、協力者を集めることの大変さ、イベントの準備作業に掛ける膨大なエネルギーであったりしますが、イベントに参加した子供から大人までが喜んで顔を見ると「少人数でもこれだけのことが出来るのだと思い、勇気が湧いてきます。」と笑っていました。特に「武石子育て支援を考える会」とのつながりから、ボランティアや若い人の協力者も増え、非常にありがたいとの事です。

5年間の活動を振り返り、柳沢さんは60%の達成度だと評価しています。上田市の応援事業は5年目の今年で一区切りとなり、来年は補助金がなくなる事もあり、次のステップに進む時期にあります。「従来の枠を超えて、良い事は良い事として同じ思いの人々がつながれば、まだまだやれる事はあると思う。素晴らしい仕事をする人々にもっとつながりたい。」と抱負を話してくれました。今後の活動は、「住みよい武石をつくる会」との「つながり」に期待を込めて話していました。



▲おさんぽギャラリーの1コマ コーラス武石



▲ギャラリークラノマ

「ギャラリークラノマ」は、農協武石支所の向かい側、2階建の古い土蔵を改造し、平成24年秋にオープンしました。1階は武石産の大豆、お米から作った手作り味噌や小物などの販売、2階をギャラリースペースとして、年間6回程度の企画展を行っています。企画展は、オーナーの柳沢裕子さんが自ら企画、交渉して展示される選りすぐりの作品ばかりで、武石在住の方をはじめ、県内外の作家の皆さんの作品を展示、販売しています。

金土日の週末営業で、冬期間はお休み。来年春からの企画展を立案中で、武石の人をもっと紹介したいので、いい方がいたら教えてほしいとの事です。

詳しくは、

エリアトーク通信開始へ

住民皆さん待望の武石地域情報伝達無線システム(エリアトーク)は、12月20日までに基地局(武石地域自治センター)、中継局(沖、唐沢公民館)の建設と、戸別受信機の各世帯、事業所、公共機関等への受け渡しを終



▲エリアトーク受信機

了し、いよいよ来年1月1日から通信・放送が開始されます。これまで自治会長はじめ多くの皆様にご協力いただきましたことに改めて感謝申し上げます。

11月末から12月中旬にかけて各公民館などで戸別受信機の受け渡しと操作説明が行われました。また12月8日から22日まで朝7時10分と夜9時10分にテスト放送が流れますので、受信感度確認をお願いします。

1. 放送の種類

- (1) 定時放送(朝7時10分、夜9時10分)
- (2) 臨時放送(行事などの急な変更時)
- (3) 緊急放送(特別警報などの気象情報、災害時の避難情報など)

が予定されています。さらに

- (4) 各自治会だけに放送できるシステムもありますので、自治会活動にご活用いただけます。

2. 放送をしたいとき

- (1) 通常の定時放送を利用したいときは、武石公民館に放送原稿がありますので、平日8時半から12時までに、放送依頼者名、放送内容、希望放送日時等記入し、そこに設置されているポストに入れてください。

- (2) 臨時放送をしたいとき
行事予定の急な変更や急なお葬式など、定時放送では間に合わないときには、臨時放送ができます。臨時放送は、電話(番号決まり次第お知らせします)を掛けて、放送依頼者名、放送内容、希望放送日時等をお伝えください。臨時放送は、朝7時から夜9時までの受付です。

- (3) 自治会内だけ放送したいとき
放送を自治会長に依頼します。自治会長が自宅電話から自分の自治会のみ放送できます。

会の活動

住みよい武石をつくる会運営委員会が開催されました。

- ・第5回運営委員会(10月11日)
- ・第6回運営委員会(11月20日)

エリアトークの加入申込み状況報告、同運営規則・同放送要項・エリアトーク特別会計予算の決定、戸別受信機の配布方法・日程案の検討、住みよい武石をつくる会会計の9月末の執行状況の報告等が行われました。

秋のイベント盛大に開催

武石の秋を代表するの2つのイベントが今年はいよいよ雨の中でしたが盛大に開催されました。

第28回ともしびの里駅伝大会は10月22日に開催されました。台風21号の大雨の中、エントリーした102チームのうち85チームが出場しました。

沿道では大勢の皆さんが声援を送っていました。また、大会運営にはたくさんの住民の皆さんがボランティアで運営に協力、武石地域の活力を示しました。

文化祭・JAフェスティバル・おさんぽギャラリーは28日、29日の2日間、開始されました。台風22号が接近し特に22日は間断なく雨が降っていましたが、大勢の皆さんが訪れ、作品や音楽の鑑賞、買い物や食べ歩きを楽しみ、旧交を温める姿も見られました。

お知らせコーナー

1月の
行事

平成30年成人式武石会場

- 日 時 ▶ 1月7日(日) 11時～(受付10時30分～)
場 所 ▶ 武石公民館コミュニティーホール
対 象 ▶ 平成9年4月2日～

平成10年4月1日生まれの方

たけし共育フォーラム2018

- 日 時 ▶ 平成30年1月27日(土)
13時30分～16時30分
場 所 ▶ 武石公民館コミュニティーホール
内 容 ▶ ふるさとかるたで遊ぼう
話題提供
分散会で討論

主 催 ▶ 住みよい武石をつくる会
子育て・教育文化部会